

外部隊狀況速報第七九號

昭和二十二年三月二十日

第二復員局 在外部隊調査班

第三三警備隊「ボンガオ」派遣隊ノ狀況

一、資料出所

三三警「ボンガオ」派遣隊附 豫備中尉 内海敏勝（東京都芝區三田絹町四）

同 同 奥瀬雅久（同 目黒區中根町二二 武井方

二、「ボンガオ」派遣隊戦闘狀況

昭和二〇年一月下旬「タウイタウイ」島所在陸軍部隊次デ三月上旬「サ
ンガサンガ」島所在陸軍部隊「ボルネオ」島ニ轉進セル後「ボンガオ」
島海軍部隊ヨリ約一ヶ小隊ヲ「サンガサンガ」飛行場警備ノ爲派遣中
ナナリシモ三月中旬ニ至リ敵上陸間近シト判断シ全兵力ヲ「ボンガオ」
島ニ集中ス

當時「ボンガオ」島所在海軍全兵力左ノ通り

(イ) 三三警「ボンガオ」派遣隊 指揮官小川大尉以下二〇〇名

(ロ) 水上基地警備員 二〇 三〇名

（一）〇三施設部工員 約二〇名

合計 約二五〇名 指揮官小川大尉（戦死）

昭和二〇年四月一日夜半敵艦船ヲシキモノC一、A二、D數隻、輸送船大型一隻小型數隻ヲ認ム

四月二日午後ニ至リ「サンガサンガ」島ニ上陸ヲ開始セルヲ以テ我が所在部隊ハ二十五艇機銃ヲ以テ應援シ彼ハ一時上陸ヲ中止シ北方ニ轉艦「ボンガオ」島ニ對シ艦砲射撃ヲ實施四月二日夜ニ至リ「ボンガオ」島ニ上陸ス

本上陸戦闘ニ於テ指揮官小川大尉戦死一〇三施設横野豫備大尉代ツテ指揮ヲ執ル

翌四月三日ニ至リ敵ハ對岸「サンガサンガ」島ヨリ兵力ヲ增強シ我ハ豫定ノ戦策ニ從ヒ洞窟ニ集中周邊ニ陣地ヲ構築スルト共ニ専ラ敵情偵察ニ努メタルモ各部偵察隊員ニシテ行方不明トナルモノ多ク狀況判斷セズ四月五日頃ニ至リ全ク敵ノ包圍下ニアルコト判明糧食ハ當時僅カニ十日ヲ支ヘルノミ、四月中旬頃ニ陣地ヲ變換シ漸次敵ノ目ヲ眩シタ

ルモ糧食缺乏ノタメ轉進スルニ決シ四月二十五日「サンタカレ」方面ニ向ケ轉進ヲ令ス

一組ニ約十名宛分 二十三組ヲ編成ス（總員約二〇〇名）

四月二十七日一八〇〇頃「ボンガホオ」島ヲ脫出セルモ操縦意ノ如クナラズ各組分散ス

内海中尉ノ筏ハ翌朝「ボルネオ」島ヲ臨見シ二十八日二三〇〇頃「ボルネオ」北端ニ達著ス

指揮官横野大尉ノ筏ハ途中敵機ノ銃爆撃ニ會シ横野大尉二十八日戰死一名ノミ泳ギテ「ボルネオ」ニ到著セルモ他ハ全部横野大尉ト共ニ戰死セルモノト認メラル

内海中尉以下十名ハ原住民家屋ニ約十日間休養シタル後西方ニ行軍陸軍部隊ニ合セント企圖ス途中近藤兵曹ノ指揮スル十名ニ會合五月中旬頃「サンタガン」著

内海中尉以下十名
近藤兵曹以下十名

及横野大尉ノ筏ニテ助カリシ一名

計二十一名ナリ

奥瀬中尉以下九名モ當時既ニ「サンタガン」ニ到着シアリソノ後到着セルモノ七、八名アリ同「ボリオ」方面ニ到着セルモノ約十五名ニシ

テ脱出當時二〇〇名中「ボルネオ」ニ到着セルモノ約五十五名ナリ

三、「サンタガン」到着後ハ第六震洋隊ニ假入隊、同隊ト行動ヲ共ニセリ

(イ) 兵力

第六震洋隊

舟艇隊 指揮官相田大尉海上ニアリ兵力ハ承知セズ

戦果確認班 三〇名

基地 員八〇名

「ボンガオ」隊約四〇名

右ノ内戦果確認班、基地員及「ボンガオ」隊計一五〇名ヲ以テ陸戦隊ヲ編成、舟艇隊ハ相田大尉指揮ノ下ニ海上ニ作戦ス

(ロ) 終戦後ノ状況

ニジービー「サンタカ」ヲ撤收月末頃「セツセルトン」著

内海中尉 十一月十六日部隊ヨリ離サレ十二月一日「ラフアン」島

ニ連行サル

奥瀬中尉 一〇月三十日「ラフアン」島ニ連行サル

相田大尉 十二月三十日頃「ラフアン」ニ連行サル

部隊ノ大部分ハ昨年六、七月頃内地歸還一部戦犯容疑者ハ「ホンチヤチク」方面ニ連行サレタルモノノ如シ

前記三名ハ二十一年五月二十六日「ラフアン」發「シンガポール」へ護送サレ六月一日「チャンキ」刑務所ニ入りタルモノノ後釋放サレ今次朝嵐丸便ニテ二月上旬吳著歸還セリ

0406